

教育課程の編成
に関わって、どの
ようなことが大切
なのではないでしょうか？

「道徳性」を構成する諸様相は、内面的資質

内面的資質＝道徳性

「**思い**」は見えないが、
「**こころ**」は見えないが、



よりよい行為へのエネルギー
(道徳性＝内面的資質)

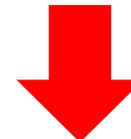


- 道徳的判断力
- 道徳的心情
- 道徳的実践意欲と態度

※これらの道徳性の諸様相には、
特に序列や段階があるわけではない。

「**思いやり**」は見える。
「**こころづかい**」は見える。

※宮澤章二『行為の意味』より



よりよい行為
(道徳的習慣、道徳的行為)



- 道徳的習慣
- 道徳的行為

※内面的資質を育むための手立て
として捉えることができる。

- 道徳的判断力・・・それぞれの場面で善悪を判断する能力
- 道徳的心情・・・道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情
- 道徳的実践意欲・・・道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き
- 道徳的態度・・・道徳的判断力や道徳的心情に裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え

内面的資質である道徳性と道徳的実践（行為）の両面の指導が大切。



鉄は熱いうちに打て

行為に関する指導



いじめはやめなさい！

いじめをやめさせる指導



急がば回れ

内面的資質の育成

相手の気持ちを考えて親切にしたことはありますか？



いじめをしない資質を育てる指導

友情

親切

規則遵守

誠実

寛容

公正公平

礼儀

節度

学校の教育活動全体を通して

特別の教科「道徳」以外の時間

- 各教科 外国語活動
- 総合的な学習の時間 特別活動で
- 日常の生徒指導を通して



特別の教科「道徳」

- 週1時間の授業で（35時間）
- 計画的・発展的に
- 人生において
出会うであろう場面で
主体的に道徳的な行為が
できるように

校門前坂道「浦っ子の坂」に花壇をつりました。



平成28年4月5日(火)

ペットボトルキャップ贈呈



平成28年3月2日



『特別の教科 道徳』の実施に向けて

～小学校はH30年，中学校はH31年～

教育課程の編成

1 道徳教育の全体計画

- 各学校は、道徳教育の重点目標を設定します。⇒ 重点目標
- 重点目標が、道徳教育の内容項目のどれにあたるか明確にします。⇒ 重点内容項目

2 全体計画の別葉

- 道徳科の授業以外の教育活動における道徳教育の指導の内容及び時期等を示します。
⇒ 重点目標を中心に編成することをお勧めします。

3 道徳科の年間指導計画

- 重点内容項目は、他の項目より多めに時間数を確保します。

例 高学年は22の内容項目があります。全ての内容項目を1時間で行うと、 $35-22=13$ の余剰時間ができます。この13時間に重点内容項目を振り分けます。

- 学校行事等との関連が図られるように内容項目の指導時期を考慮します。

※県教委のホームページ「道徳教育」の「教科化の全面実施に向けて」参照。

指 導

1 教科書の使用義務

- 主たる教材として教科書を使用する。
- 教科書以外の教材を使用する例
例1: 重点内容項目に関わる教材が教科書に不足している場合、地域教材や「私たちの道徳」等の教材を使用。
例2: ねらいの達成には、地域教材が有効であると判断した場合。

2 道徳的価値の理解

- 大切であるという理解だけでなく、実現することの難しさや感じ方、考え方は多様であることを自分事として深めることが大切です。
⇒ 自己を見つめる
⇒ 多面的・多角的に考える

※道徳的価値を知識として、理解させるのではありません。



困っている人に親切にするのは大事だけど、声をかけることは難しいなあ。



ありがとうにも、いろいろな思いがあるんだなあ。

親切な行為にも、いろいろな考え方があなあ。

評 価

1 学習状況を評価

- 週1時間の道徳科の評価です。
- 児童生徒が、自分事として考えたり、多面的・多角的に考えたり話し合ったりしている学習状況を把握します。
※授業の中で、道徳的判断力、心情等の道徳性を評価するのは困難なことです。

2 個人内評価

- 学習状況から、児童生徒のよさやがんばりを継続的に把握していきます。
- 達成状況ではなく、学習のプロセスを評価します。
※相対評価や絶対評価ではなく、認めて励ます個人内評価です。

3 指導要録と通知表

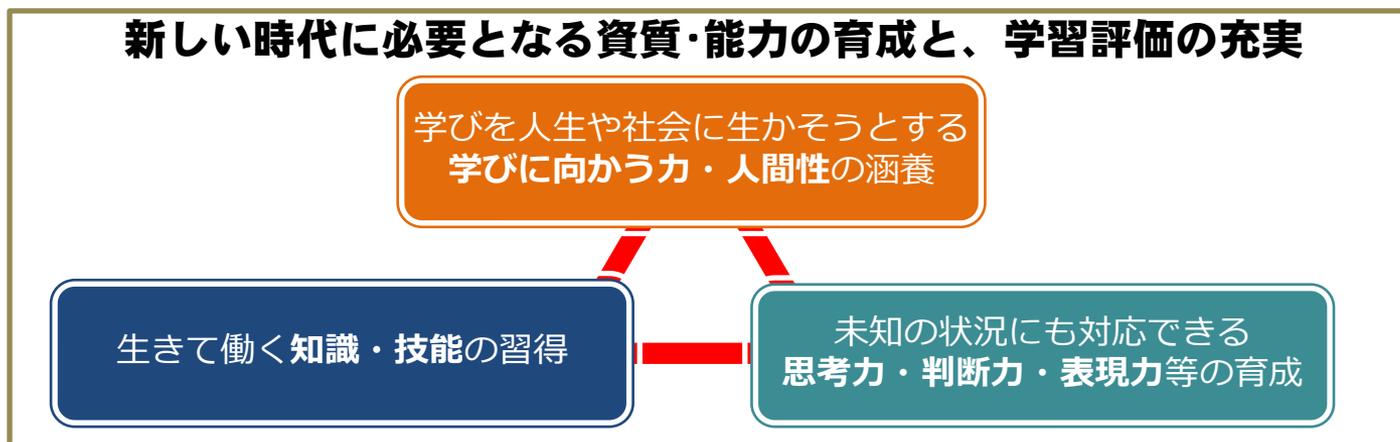
- 数値による評価ではなく、記述式です。
- 指導要録の評価は、法令上の規定ですが、通知表は各学校の判断です。

※週1時間の授業を確実に実施
⇒ 学習状況の把握

※指導があってこそその評価です。

教育課程の編成と教育活動は、 学校の教育目標の実現を目指して行う。

- **学校の教育目標**の達成とは、子供に必要な力を身に付ける教育活動の実現のこと。
- 日々の教育活動が、**子供たちの資質・能力の育成につながっているのか**、確認して、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が求められている。





<A小学校の学校の教育目標>

アイディアマン、ハートマン、ファイトマン

アイディアマンとは、「自ら問いをもち、探究する子」

⇒思考、判断、表現に関わる力をもった子供と言える。

ハートマンとは、「目標に向かって、何事にも協働的に取り組む子」

⇒めあてや見通しをもって取り組む態度は、学びに向かう力であり、

⇒協働的に取り組める子は、相手の考えを尊重したり、相手の気持ちを推し量れる人間性をもった子供と言える。

ファイトマンとは、「学んだことを活かし、新しいことに挑戦する子」

⇒単なる知識ではなく、生きて働く知識・技能が身に付いた子供の姿と言える。

<A小学校の学校の教育目標>

アイディアマン ➡ 自ら問いをもち、探究する子

ハートマン ➡ 目標に向かって、何事にも協働的に取り組む子

ファイトマン ➡ 学んだことを活かし、新しいことに挑戦する子

○相手の考えを尊重したり、相手の気持ちを推し量れる人間性

○ルールやマナーを尊重する態度

本校の道徳教育の重点目標を次のように設定しました。

『人間尊重の精神を生かし、思いやりの心
をもち、規範意識の高い子どもを育成する』



校長先生の方針は、学習指導要領解説に示されている内容項目から言えば、「親切・思いやり」と「規則の尊重」の2つですね。

次に、各学年の重点目標を設定します。

<A学校の道徳教育の重点目標>

人間尊重の精神を生かし、**思いやりの心**をもって、**規則を尊重**しようとする子どもを育成する。

<低学年の重点目標>

- 身近にいる人にあたたかい心で接することができる。
- 約束やきまりを守り、みんなで使うものを大切にできる。

<中学年の重点目標>

- 相手のことを思いやり、進んで親切にする。
- 学校のきまりや社会のルールを守って生活できる。

<高学年の重点目標>

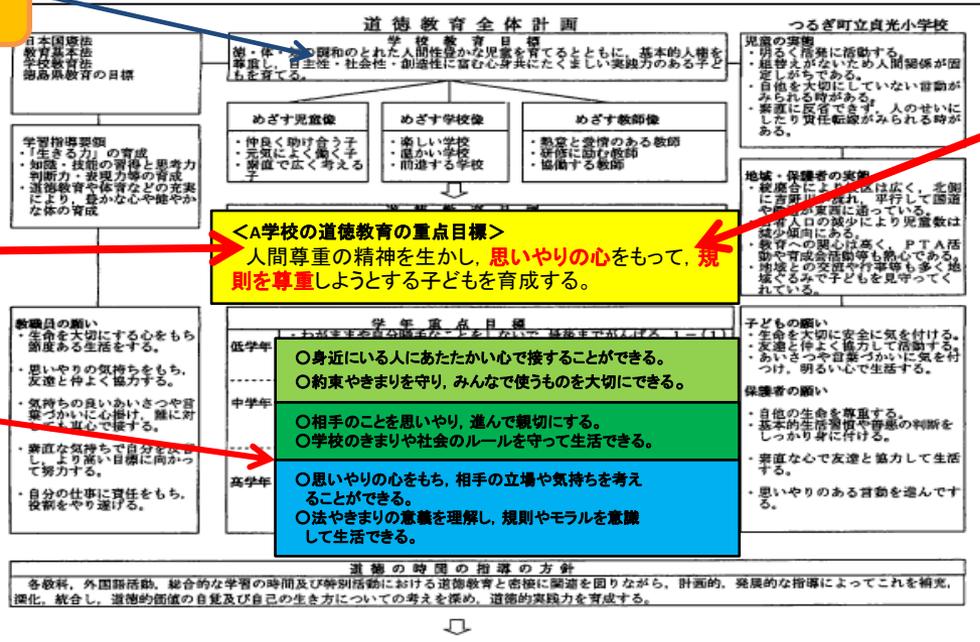
- 思いやりの心もち、相手の立場や気持ちを考えることができる。
- 法やきまりの意義を理解し、規則やモラルを意識して生活できる。

道徳教育の全体計画(例)

学校教育の教育目標

道徳教育の重点目標

各学年の重点目標





道徳科以外の道徳教育の指導
の内容及び時期を示します。

これが、
全体計画の別葉(例)です!



第2学年

思いやりにかかわる指導

規則の尊重にかかわる指導

内容	国語	算数	生活	音楽	図画工作	体育	特別活動
節度・節制			自分自身の成長を振り返る。(2月)	自分の歌声に注意して歌う(5月)		場の安全に気を付けて運動する	持ち物の整理整頓をしっかりとやる(通年)
努力、意志			自分でできることをしっかりと行う(7月)		好きな色を選んで納得するまで作り直す(6月)	目標をもち鉄棒を使った運動遊びをする(9月)	
正直・誠実							
善悪の判断							
礼儀	場面に合わせたあいさつをする(4月)		地域の人々に適切な言葉遣いで接する(11月)				あいさつや言葉遣いを適切にする(5月)
親切・思いやり	グループで話し合っ て考えをまとめる(6月)		幼児の思いに応じて行動する(9月)	感じ取ったことを相手に伝える(9月)	他の人の作品のよいところを探す(11月)	相手のことを考えてストレッチングを行う(5月)	
友情・信頼				友達と一緒に声を合わせて歌う(6月)	友人と活動しながら想像を広げる(10月)	友達と協力して長なわをする(10月)	
相互理解			通学路の安全を守る人々に関心をもつ(4月)				
生命の尊さ			動物の生命に直接触れる活動をする(6月)				食と生命とのかかわりを考える(9月)
自然愛護	科学的な本を内容を押さえて読む(2月)						遠足を通して豊かな自然に触れる(5月)
畏敬の念				歌詞の表す情景を表現する(9月)		動物の特徴や様子を調べて表現する(2月)	
規則の尊重			公共交通機関の利用から公德について考える(10月)	音楽的な約束事を守って活動する(10月)		運動の順番やきまりを守って運動をする(通年)	遠足での公共交通の利用の仕方を学ぶ。(5月)
公正・公平			動物の世話をしっかりと行う(10月)				当番の大切さを知りみんなのために働く(6月)
家族愛	家庭の出来事を思い出して書く(9月)		家庭生活で自分でできることを考える(6月)				
学校生活							よりよい学級にするために話し合う(通年)
伝統と文化	地域探検してきたことを記録する(11月)		地域の特徴を生かした遊びをする(2月)	わらべうたや遊びうたに親しむ(11月)			



「思いやり」と「規則の尊重」
は私の学校の重点目標です。

2つの重点目標(重点内容項目)には、全教職員で意識して取り組みます。



第2学年

	国語	算数	生活	音楽	図画工作	体育	特別活動
節度・節制							
努力、意志							
正直・誠実							
善悪の判断							
礼儀							
親切・思いやり	グループで話し合って考えまとめる(6月)		幼児の思いに応じて行動する(9月)	感じ取ったことを相手に伝える(9月)	他の人の作品のよいところを探す(11月)	相手のことを考えてストレッチングを行う(5月)	
友情・信頼							
相互理解							
生命の尊さ							
自然愛護							
畏敬の念							
規則の尊重		十進位取り記数法を基にきまりについて考える(9月)	公共施設を利用から公德について考える(10月)	音楽的な約束事を守って活動する(10月)		運動の順番やきまりを守って運動をする(通年)	遠足での公共交通の利用の仕方を学ぶ。(5月)
公正・公平							
家族愛							
学校生活							
伝統と文化							

思いやりにかかわる指導

規則の尊重にかかわる指導

重点目標（重点内容項目）

を中心にして、作成した別葉（例）

特別活動

各教科等

(2)年 道徳教育の全体計画の別葉

重点内容項目	学期	特別活動 (学校の行事、児童会活動、学級活動等)	国語	算数	生活科	音楽	図工	体育
親切・思いやり	1	1年生と なかよくなるよう	友だちに伝えたい 出来事を見つけて 書こう			うたで ともだちの わをひろげよう		体育館で遊ぼう
	2	学級レクを 計画しよう	「ありがとう」の 手紙を書こう					おどってみよう
	3	6年生ありがとう	「おもちゃ教室」を ひらいて 一年生を招待しよう		あしたへダッシュ		ピコリン星 ゆめのステージ	なわや輪を 使ってあそぼう
規則の尊重	1	雨の日のすごし方 を考えよう			まちが大すぎ たんけんたい			ボール投げゲーム をしよう プールで水遊びをしよう
	2	みんなであそぼう	やくそくを話し合っ て遊び大会をしよう		えがおのひみつ	9 鼓笛練習	9 カッターナイフタワー	
	3	物を大切にしよう						ボールナリゲーム をしよう

重点内容項目

学期ごとに重点内容項目に関わる指導内容
を示している。

特別の教科 道徳の年間指導計画作成

説明

<指導計画作成上の配慮事項>

各学校においては、**道徳教育の全体計画に基づき**、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら、道徳科の年間指導計画を作成するものとする。なお、作成に当たっては、第2に示す各学年段階の内容項目について、相当する各学年において全て取り上げることとする。その際、児童や学校の実態に応じ、2学年間を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導、一つの内容項目を複数の時間で扱う指導を取り入れるなどの工夫を行うものとする。



各校の重点目標が決まったら、**道徳科の年間指導計画に反映**させていきましょう。
重点目標に関わる指導内容(重点内容項目)は、1時間ではなく、2～4時間ほど、授業を行ってもよいのです。

例えば、1時間に1つの内容項目で学習したとすると

- ・小学校低学年・・・19この内容項目
- ・小学校中学年・・・20この内容項目
- ・小学校高学年・・・22この内容項目

$$\begin{aligned} &\cdot 35 - 19 = 16 \\ &\cdot 35 - 20 = 15 \\ &\cdot 35 - 22 = 13 \end{aligned}$$

この時間に、
重点内容項目
の授業を行う。